

ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくりへの支援

平成29年11月

【担当省庁】 国土交通省

国にお願いすること

東京オリンピック・パラリンピック開催年の平成32年春のまち開きに向け、真に国際競争力のある奈良県を目指す最重要プロジェクトの集中的な事業実施に支障が生じぬよう、**社会資本整備総合交付金事業の財政支援の重点配分**をお願いしたい。

奈良県における取組

ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくり

観光都市でありながら、消費の少ない日帰り観光が主

○ 課題

- ・ 本県は多様な文化・観光資源が豊富にも関わらず、日帰り型では文化・観光資源にふれて頂く機会が限られる
- ・ 日帰り型では県内消費や、雇用創出効果が少ない

○ 取組

官民連携(PPP)により、新たな賑わい拠点を創出

コンベンション施設等の新たな交流拠点を県が整備するとともに、最高級国際ブランドホテル(JWマリオット)やNHK放送会館の整備により、インバウンドを含む観光客や国際会議を受け入れ、県経済の活性化及び奈良ブランドの一層の向上を図る。

「ホテルを核とした賑わいと交流のまちづくり」において、平成28年度から社会資本整備総合交付金事業の都市再生総合整備事業(総合整備型)や道路事業を活用。

今年度は、施設の設計を完了し、工事に着手。

交流拠点各施設の完成イメージ

平成32年春完成



○奈良県初、2,000人規模の国際会議が開催可能なコンベンション施設



○世界中に会員を有する最高級国際ブランドホテル

○多様な賑わいを創出する大屋根付き屋外多目的広場



【県担当部局】 まちづくり推進局大宮通り新ホテル・交流拠点事業室